

## 第9回 BELCA賞 ベストリフォーム部門 表彰建築物

### 麒麟ビール 名古屋工場総合棟

所在地：愛知県西春日井郡新川町  
大字寺野字花笠100

用途(改修後)：工場（見学者受入施設・事務所）  
(改修前)：工場（ビール仕込工場）

所有者：麒麟ビール株式会社

改修設計者：三菱地所株式会社一級建築士事務所

改修施工者：大成建設株式会社

竣工年：1962年

改修年：1997年



この施設は、1962年（S37年）にビール工場の仕込棟として建築された。35年後の1997年（H9年）に、機能とプログラムを変更し、新しくできたハイテク工場と渡り廊下でつながりながら、この棟を訪れた工場見学者や地域の人々にビールの歴史と文化に触れながら憩える場に仕立て直している。「ビア・パーク」という名称で「レトロとハイテク」を実感できるよう計画され、社会に開かれた親しみのある施設に変貌した。レストランを併設した見学者受入施設と事務所・従業員の構成施設等の異なる機能を収めながら、明快な動線処理によってそれらを分離している。工場施設だったこの建物に耐震壁、ブレースの新設、柱の打ち増しという耐震補強をしながら、躯体と天井の高い空間を生かし、外装はスチールサッシからアルミ・カーテンウォールに改修している。あわせて垣根を撤去し、公開空道を創り出して緑化を行い、地域景観の向上に寄与させていることは大いに評価できる。

「リニューアルからレトロフィットへ」というコンセプトで、単なる再利用や改修を越え、新しい価値の創造を心がけていることが訪れる人々にも伝わってくる。特にインテリアにおいては操業当時の生産設備の保存・再生を図り、それらを展示したり装飾的に利用してユニークな空間づくりに成功している。宇宙を飛んだ人工衛星のようにも見える天井に吊られた旧箱型仕込釜を見上げながら異次元空間へ導かれるような演出のエスカレーター、銅製仕込釜を天蓋にした螺旋階段、仕込釜の「かまくら」のような小空間など、特徴的な仕込釜の機能美をもつ形態と材質感の良さを極めて巧みに利用している。他の大きな機械はガラスケースに封印されて時が止められ、ビール瓶は照明器具になり、昔の職人の工具も展示され、当時の実用品や機械が、物言わねど確かな存在感をもって語りかけてくる。ただ外観は綺麗になりすぎたきらいがある。欲を言えば、以前の煙突や古い壁面等を象徴的に残すことで、新しさの中にも継承や記憶のデザイン、時の流れを組み込んであれば、より豊かな表情になったに違いない。緑地のデザインもやや洗練さに欠けてはいないか。設備に関しては、空間的に余裕のある建物の改修であり、設備機器の設置は比較的容易であったと思われる、設置状態も無理がなく、耐震性を高め将来の維持保全をも考慮して更新されたことは評価できる。日常並びに定期的な維持保全は工場の技術スタッフで行われることになり、ハイレベルな維持管理がなされると期待されるものの、将来計画が未定となっている。建築設備機器類の特性をよく知っている者が、ある程度の維持保全計画を策定してクライアントに示すべきと考えられ、その点は多少物足りなさを感じる。しかし、総合的には優れたリフォーム計画として高く評価するものである。